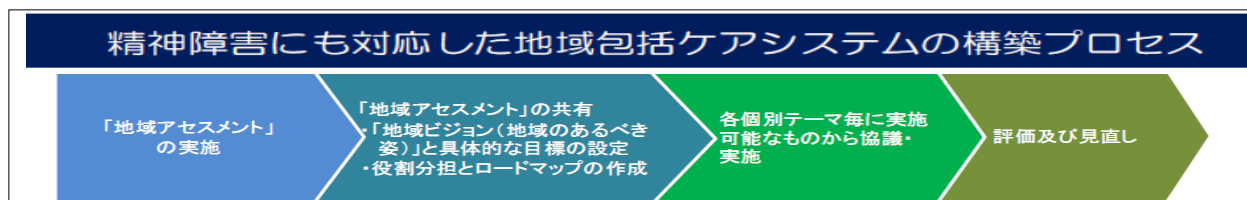


「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（「にも包括」）の構築にかかるワーキンググループの経過について

厚生労働省の「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築プロセス」に基づき、足立区でも構築推進を図ってきた。



（厚生労働省「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための手引き」より）

1 ワーキングの経過

令和 3 年度、ワーキンググループ※¹ において、構成要素※² ごとに足立区の地域アセスメント（現状の把握と課題の抽出）を行い、令和 4 年度は、個別事例検討から地域課題の抽出を行なった。

※¹ 区内地域移行支援事業所を中心としたメンバーで構成

※² R3. 3. 18「にも包括の構築に係る検討会」最終報告に示された「にも包括」を構成する 7 つの要素

【表 1】

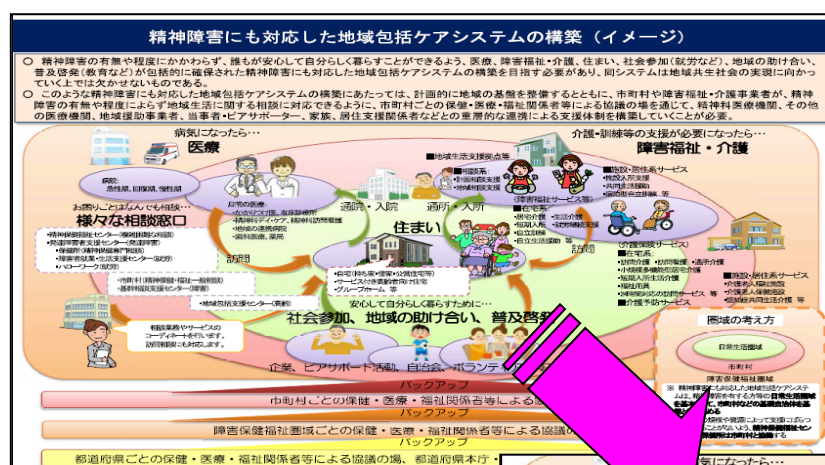
日時	内容	
R3. 11. 8	第 1 回WG 地域アセスメントの方法について検討	
(宿題)	構成要素ごとに地域アセスメント表の書き込み	
R3. 12. 1	第 2 回WG 構成要素ごとに現状・課題を検討。共通課題として「相互理解」「人材育成」と整理。今後実施すべき内容を確認。	
日時	内容	参加者
R4. 5. 25	第 1 回WG 野中式事例検討①	12 人（WG メンバー、都立精神保健福祉センター、相談支援センターあらかわ、精神保健係）
R4. 6. 10	第 2 回WG 野中式事例検討②	14 人（WG メンバー、都立精神保健福祉センター、相談支援センターあらかわ、精神保健係、医療機関）
R4. 6. 20	第 3 回WG 野中式事例検討③ 1～3 回の事例検討から 地域の課題を検討	17 人（WG メンバー、都立精神保健福祉センター、相談支援センターあらかわ、精神保健係、保健センター）
R4. 10. 14	第 4 回WG 野中式事例検討④	16 人（WG メンバー、都立精神保健福祉センター、相談支援センターあらかわ、精神保健係、保健センター）

日時	内容	参加者
R4. 11. 8	第5回WG 野中式事例検討⑤	13 人（WG メンバー、都立精神保健福祉センター、相談支援センターあらかわ、精神保健係、保健センター）
R4. 11. 29	第6回WG 野中式事例検討⑥	20 人（WG メンバー、都立精神保健福祉センター、相談支援センターあらかわ、精神保健係、医療機関、保健センター、あだちの里相談支援センター）

2 ワーキンググループで検討した結果

【表2】

課題	資源・情報をどうつないでいくか（連携）
あるべき姿	連携により、多くの機関が資源や情報を活用し、協力し合って精神障がい者を支える地域
実現のための 取り組む内容	・多職種・多分野がつながる仕組みの構築 ・基幹相談機関の機能の充実 ・ファシリテーター（進行役）の育成 ・互いが話し合える場をつくる ・支援者が相談できる場をつくる
具体的な目標	・多職種・多分野が参加する会議の開催（保健センターの地域ケア会議の活用等） ・ファシリテーター養成研修の実施



【足立区の将来像】

多職種がつながり、
連携が取れている状況

